

# 主な家畜の伝染性疾病

## 口蹄疫

・ウイルスが原因で、偶蹄類の動物（牛、豚、羊など）がかかる伝染病。

・発熱、流涎（よだれ）、口の中や蹄に水疱（水ぶくれ）などの症状がみられる。

・伝染性が非常に強く、防疫において最も重要な疾病。

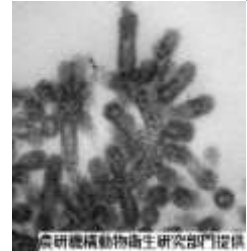


## 鳥インフルエンザ

・A型インフルエンザウイルスによる鳥の伝染病。

・家きん(鶏など)が高病原性鳥インフルエンザウイルスに感染すると、その多くが死亡。

・渡り鳥による伝搬で発生する例もあり。



## アフリカ豚熱(ASF)

・アフリカ豚熱ウイルスが豚やいのししに感染する伝染病。

・発熱や全身の出血性病変を特徴。ワクチンや治療法がなく、最も恐れられている家畜の伝染病の一つ。

・ダニや感染した豚との直接接触他、汚染された未調理の豚肉によっても豚に感染する。ウイルスは冷蔵で数ヶ月残存する。



## ランピースキン病

・ランピースキン病ウイルスにより起こる牛や水牛の伝染病。

・感染した牛などの皮膚に結節や水腫を起こし、ハエなどの吸血昆虫によって感染が拡大。

・我が国では令和6年11月に初めて発生。令和8年の法改正で家畜伝染病に格上げ予定。

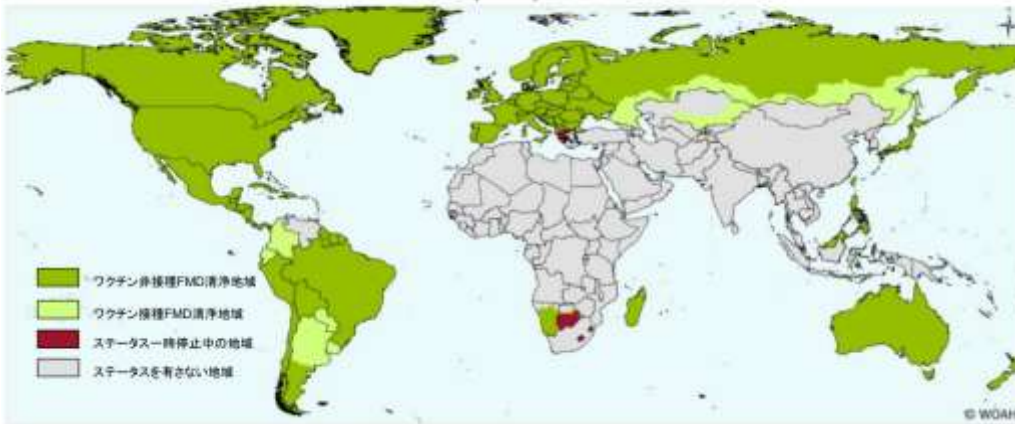


# 海外における重要伝染病の発生状況

口蹄疫 (FMD) のWOAHステータス認定状況

Last update April 2026

2026年4月時点



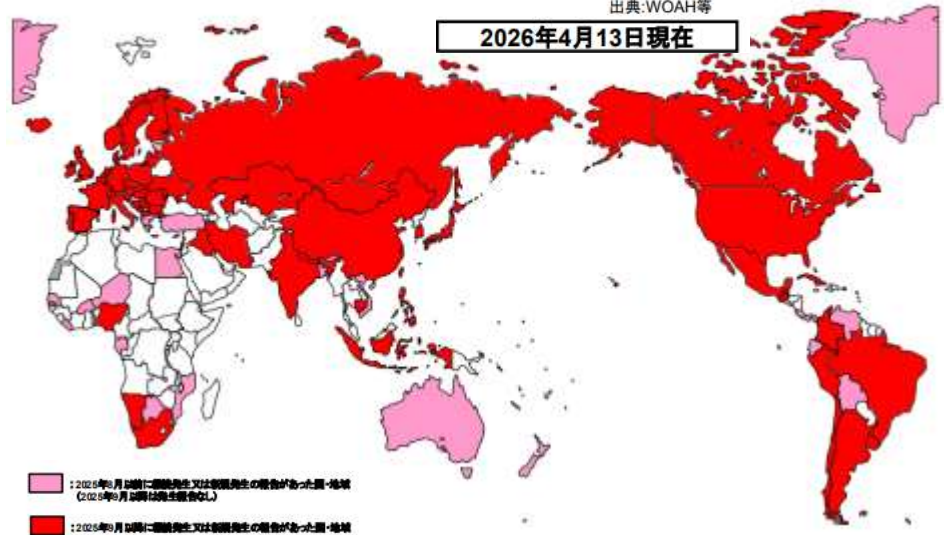
[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/k\\_fmd/](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/)

高病原性鳥インフルエンザの発生・感染報告状況 (2023年9月以降)

※WAHIS等への報告に基づく最終発生・感染報告日を記載

出典:WOAH等

2026年4月13日現在



<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

ASFの発生報告状況

2025年11月28日時点

■ = 2005年以降WOAH等に発生・感染確認通報のあった国/地域



<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>

ランピースキン病の発生報告 (2025年10月6日時点)



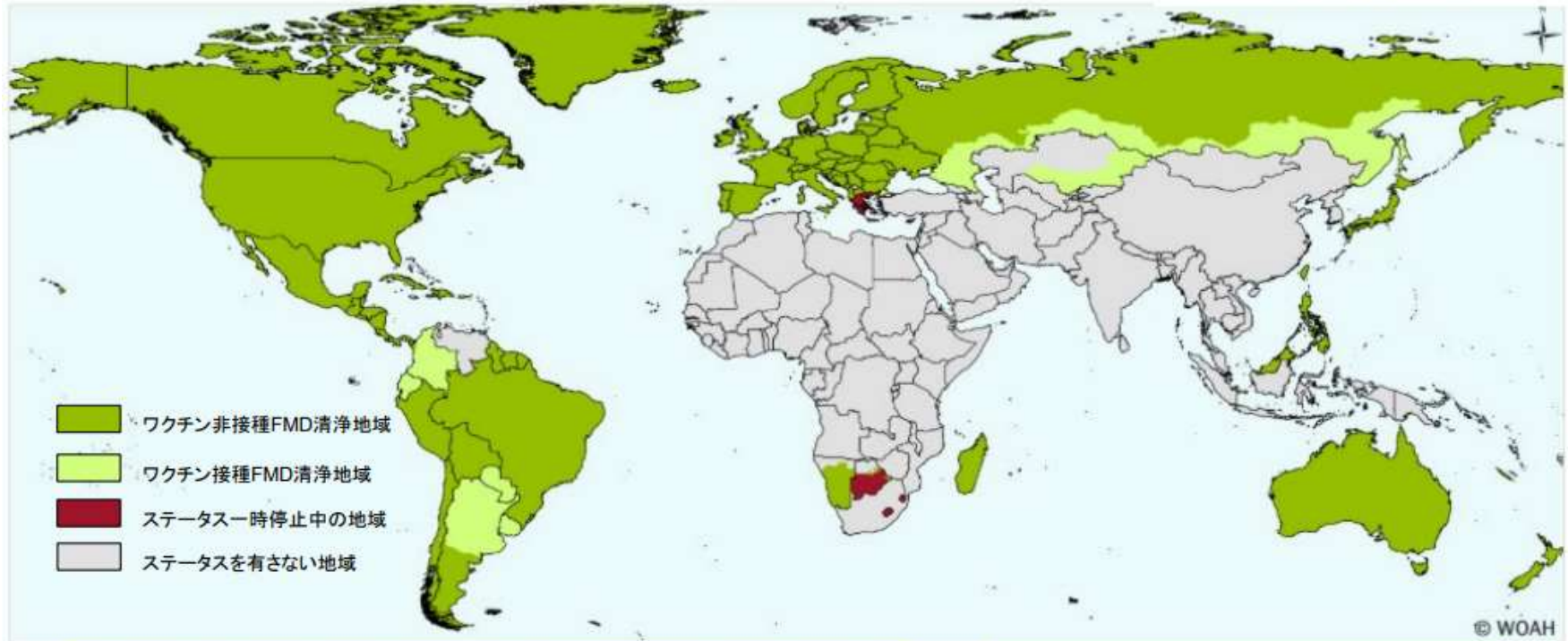
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/lsd.html>

# 口蹄疫(FMD)

## 口蹄疫(FMD)のWOAHステータス認定状況

Last update April 2026

2026年4月時点



全土がワクチン非接種FMD清浄地域で構成されている国/地域(64)					
アルバニア	クロアチア	グアテマラ	リトアニア	ペルー	スウェーデン
オーストラリア	キューバ	ガイアナ	ルクセンブルク	フィリピン	スイス
オーストリア	チェコ共和国	ハイチ	マダガスカル	ポーランド	オランダ
ベラルーシ	デンマーク*	ホンジュラス	マルタ	ポルトガル*	ウクライナ
ベルギー	ドミニカ共和国	ハンガリー*	メキシコ	ルーマニア	英国*
ベリーズ	エルサルバドル	アイスランド	モンテネグロ	サンマリノ	米国*
ボスニア・ヘルツェゴビナ	エストニア	アイルランド	ニューカレドニア	セルビア*	バヌアツ
ブルネイ	フィンランド*	イタリア	ニュージーランド	シンガポール	
ブルガリア	フランス*	日本	ニカラグア	スロバキア*	
カナダ	ドイツ	ラトビア	北マケドニア	スロベニア	
チリ		リヒテンシュタイン	ノルウェー	スペイン*	
コスタリカ			パナマ	スリナム	

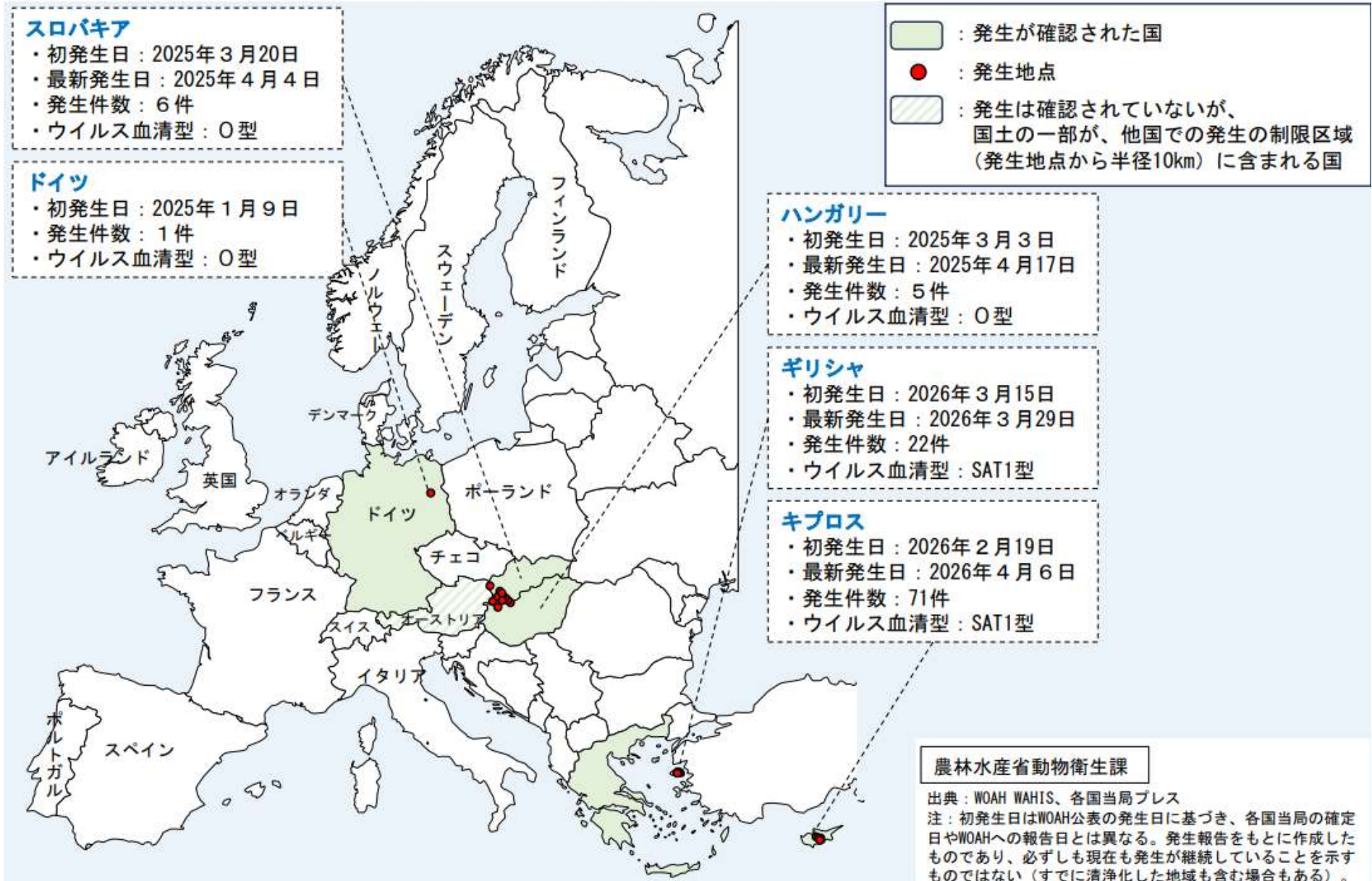
全土がワクチン接種FMD清浄地域で構成されている国/地域(2)			
パラグアイ		ウルグアイ	
ワクチン非接種FMD清浄地域を含む国/地域(11)*			
アルゼンチン	ブラジル	エクアドル	ナミビア
ボリビア	台湾	マレーシア	ロシア
ボツワナ	コロンビア	モルドバ	
ワクチン接種FMD清浄地域を含む国/地域(8)*			
アルゼンチン	エクアドル	ロシア	
台湾	カザフスタン	トルコ	
コロンビア	韓国		
ステータス一時停止中の国/地域(5)			
ギリシャ	キプロス	レソト	
ボツワナ	エスワティニ		

\*注釈については出典を参照 出典: <https://www.woah.org/en/disease/foot-and-mouth-disease/#ui-id-2>

# 欧州における口蹄疫(FMD)の発生

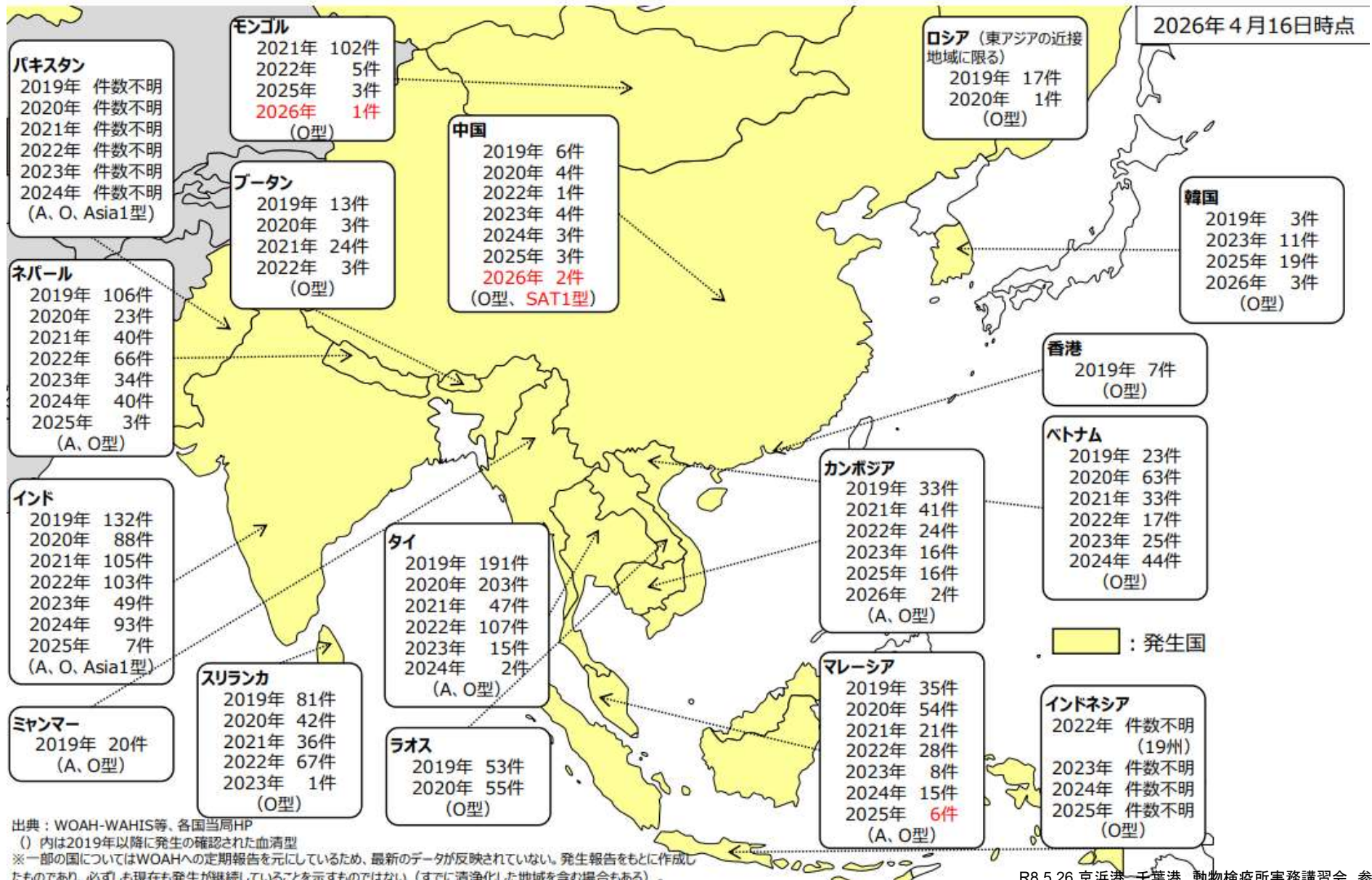
## 欧州における口蹄疫発生報告状況（2025年以降）

2026年4月16日時点



# アジアにおける口蹄疫(FMD)の発生

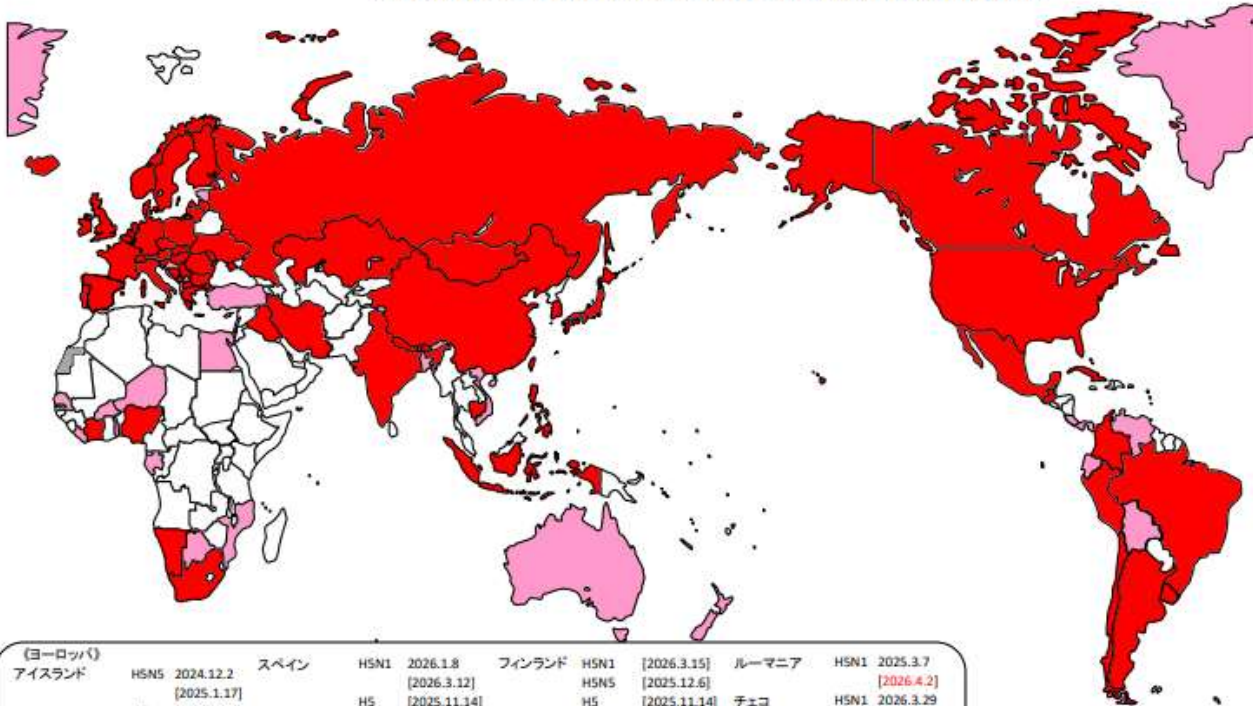
## アジアにおける口蹄疫の発生報告状況 (2019年以降)



# 高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)

## 高病原性鳥インフルエンザの発生・感染報告状況(2023年9月以降)

※WAHIS等への報告に基づく最終発生・感染報告日を記載



地域	国	株型	報告日	国	株型	報告日	国	株型	報告日
(ヨーロッパ)	アイスランド	HSN5	2024.12.2 [2025.1.17]	スペイン	HSN1	2026.1.8 [2026.3.12]	フィンランド	HSN1	[2026.3.15]
	アイスランド	HS	[2025.10.6]	スロベニア	HSN1	2024.10.16 [2026.3.25]	フランス	HSN1	2026.3.11 [2026.3.9]
イタリア	イタリア	HSN1	2026.3.24 [2026.2.17]	セルビア	HSN1	2026.1.23	オーストリア	HSN1	2026.2.20 [2026.3.9]
	イタリア	HS	[2026.1.16]	クロアチア	HSN1	2024.11.29 [2024.11.26]	スロバキア	HSN1	2026.2.18 [2026.2.23]
英国	英国	HSN1	2026.4.11 [2026.4.10]	ハンガリー	HSN1	2026.3.8 [2026.4.9]	キプロス	HSN1	2026.2.24 [2026.3.17]
	英国	HSN5	2024.11.1 [2025.11.18]	デンマーク	HSN1	2026.3.13 [2026.4.7]	トルコ	HSN1	2025.4.5
サウスジョージア・サウスサンドウィッチ群島	サウスジョージア・サウスサンドウィッチ群島	HSN1	[2025.6.26]	グリーンランド	HSN5	[2024.10.7]	リトアニア	HSN1	2025.12.5 [2026.3.26]
	フォークランド群島	HSN1	[2024.9.12]	フェロー諸島	HSN5	2023.10.6	ラトビア	HSN1	2025.12.29 [2026.1.9]
ケイマン諸島	セントヘレナ	HSN1	[2024.9.12]	ドイツ	HSN1	2026.3.12 [2026.3.24]	エストニア	HSN1	2025.12.5 [2026.3.17]
	ケイマン諸島	HSN1	2025.11.27	オランダ	HS	2024.12.23 [2026.4.2]	ギリシャ	HSN1	[2026.4.3]
北マケドニア	北マケドニア	HSN1	2025.11.6 [2025.10.8]	スウェーデン	HSN1	2026.2.25 [2026.3.26]	エストニア	HSN1	2026.1.9 [2026.3.30]
	スウェーデン	HSN1	[2026.2.16]	スウェーデン	HSN1	2026.2.25 [2026.3.26]	ルクセンブルク	HSN1	2026.2.4 [2026.2.10]
スウェーデン	スウェーデン	HS	[2024.2.21]	ノルウェー	HSN1	2025.9.2 [2026.4.8]	モンテネグロ	HSN1	2026.3.7
	スウェーデン	HSN5	[2025.4.18]	ノルウェー	HSN5	2024.11.6 [2025.9.24]			
	スウェーデン	HSN2	[2025.12.16]	不明	不明	[2026.3.30]			

地域	国	株型	報告日
(アジア)	日本	HSN1	2026.3.5 [2026.4.13]
	韓国	HSN6	2024.2.10 [2023.12.6]
台湾	台湾	HSN3	2026.2.5 [2024.10.2]
	台湾	HSN6	2025.11.3 [2025.11.4]
香港	香港	HSN9	2026.3.9 [2026.2.5]
	香港	HSN1	2026.3.13 [2025.12.2]
イスラエル	イスラエル	HSN1	[2024.11.15]
	イスラエル	HSN1	2026.2.20 [2025.3.25]
フィリピン	フィリピン	HSN8	[2025.3.31]
	フィリピン	HSN1	2026.3.31 [2025.3.28]
ベトナム	ベトナム	HSN2	2024.11.19 [2025.4.15]
	ベトナム	HS	2025.10.7
インド	インド	HSN8	2025.9.30
	インド	HSN1	2025.4.3 [2024.9.8]
カンボジア	カンボジア	HSN1	2026.3.19 [2026.2.3]
	カンボジア	HSN1	2026.3.31 [2026.3.12]
ブータン	ブータン	HSN1	2026.2.13
	ブータン	HSN1	[2025.10.24]
中国	中国	HS	[2025.10.30]
	中国	HSN6	[2024.6.13]
イラク	イラク	HSN1	2026.1.9 [2024.5.11]
	イラク	HSN1	2026.1.9 [2024.5.11]
インドネシア	インドネシア	HSN1	2025.12.30
	インドネシア	HSN1	2024.10.13 [2025.11.4]
モンゴル	モンゴル	HSN1	2026.4.7 [2026.3.10]
	モンゴル	HSN1	2025.9.29
ネパール	ネパール	HSN1	2026.4.7 [2026.3.10]
	ネパール	HS	2025.3.11
バングラデシュ	バングラデシュ	HS	2025.3.11
	バングラデシュ	HSN1	[2025.4.17]
イラン	イラン	HSN1	2025.9.29
	イラン	HSN1	2025.9.29

地域	国	株型	報告日
(オセアニア)	豪州	H7N3	2024.6.23
	豪州	H7N9	2024.5.22
ニュージーランド	ニュージーランド	H7N8	2025.2.22
	ニュージーランド	HSN1	[2026.1.3]
ニュージーランド	ニュージーランド	H7N6	2024.11.23

■ : 2025年8月以前に継続発生又は新規発生の報告があった国・地域 (2025年9月以降は発生報告なし)  
■ : 2025年9月以降に継続発生又は新規発生の報告があった国・地域

**2026年4月20日現在**

出典:WOAH等

※ [ ]は野鳥及び愛玩鳥等における感染事例を示す。  
 ※ 本国は感染事例の報告の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない。  
 ※ 型別に最新の発生事例を記載  
 ※ 白色の国、地域であっても継続感染等により報告されていない可能性もある。  
 ※ WAHIS(World Animal Health Information System)とは、WOAH(国際獣疫事務局)が提供する動物衛生情報システムである。

地域	国	株型	報告日
(ロシア・NIS諸国)	ロシア	HSN1	2023.10.19 [2026.3.1]
	ロシア	HS	[2025.7.7]
南極大陸	南極大陸	HSN1	2024.2.1
	南極大陸	HSN1	2025.3.3 [2026.3.25]

地域	国	株型	報告日
(アフリカ)	南アフリカ共和国	HSN1	2025.12.6 [2025.11.11]
	南アフリカ共和国	H7N6	2024.7.9
ナイジェリア	ナイジェリア	不明	2024.2.29 [2024.4.20]
	ナイジェリア	不明	[2024.4.20]
モザンビーク	モザンビーク	HSN1	2026.3.27
	モザンビーク	H7	2023.9.29
ブルキナファソ	ブルキナファソ	HSN1	2024.3.26
	ブルキナファソ	HSN1	2024.5.3
ガボン共和国	ガボン共和国	HSN1	2023年下半期
	ガボン共和国	HSN8	2023年下半期
エジプト	エジプト	HS	2023年下半期
	エジプト	HSN1	2025.2.5
ニジェール	ニジェール	HSN1	2025.3.19
	ニジェール	HS	2025.2.20
トーゴ	トーゴ	HSN1	2025.2.3
	トーゴ	HSN1	2025.7.25
リベリア	リベリア	HSN1	[2023.3.8]
	リベリア	HSN1	[2025.12.10]
ボツワナ	ボツワナ	HSN1	2026.3.16
	ボツワナ	HSN1	2026.3.16

地域	国	株型	報告日
(南北アメリカ)	米国	HSN1	2026.3.12 [2025.12.30]
	米国	HS	2025.12.17 [2025.12.31]
ブラジル	ブラジル	H7N9	2025.3.8
	ブラジル	HSN1	2024.12.19 [2026.1.1]
カナダ	カナダ	HSN1	2026.2.21 [2026.1.1]
	カナダ	HSN2	2024.11.16
メキシコ	メキシコ	HSN5	2025.1.15 [2026.1.1]
	メキシコ	HS	[2024.7.1]
エクアドル	エクアドル	HSN1	2025.9.18 [2026.3.2]
	エクアドル	H7N3	2025.6.19
コロンビア	コロンビア	HSN2	2024.3.6
	コロンビア	HSN1	2024.2.27 [2023.11.14]
ペルー	ペルー	HSN1	2026.2.21
	ペルー	HS	2026.2.31 [2025.2.13]
ウルグアイ	ウルグアイ	HS	[2023.10.11]
	ウルグアイ	HS	[2026.3.6]
アルゼンチン	アルゼンチン	不明	[2026.3.2]
	アルゼンチン	HSN1	2026.3.2 [2023.12.24]
チリ	チリ	HS	2025.7.14 [2024.1.12]
	チリ	不明	2026.3.2 [2026.3.1]
ブラジル	ブラジル	HSN1	2026.1.13 [2026.2.28]
	ブラジル	HSN1	2026.4.10 [2026.3.6]
パナマ	パナマ	HSN1	2025.1.21
	パナマ	HSN1	2025.8.22
グアテマラ	グアテマラ	HSN1	2025.11.4 [2025.8.20]
	グアテマラ	HSN1	[2025.8.20]

# 欧州における高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生

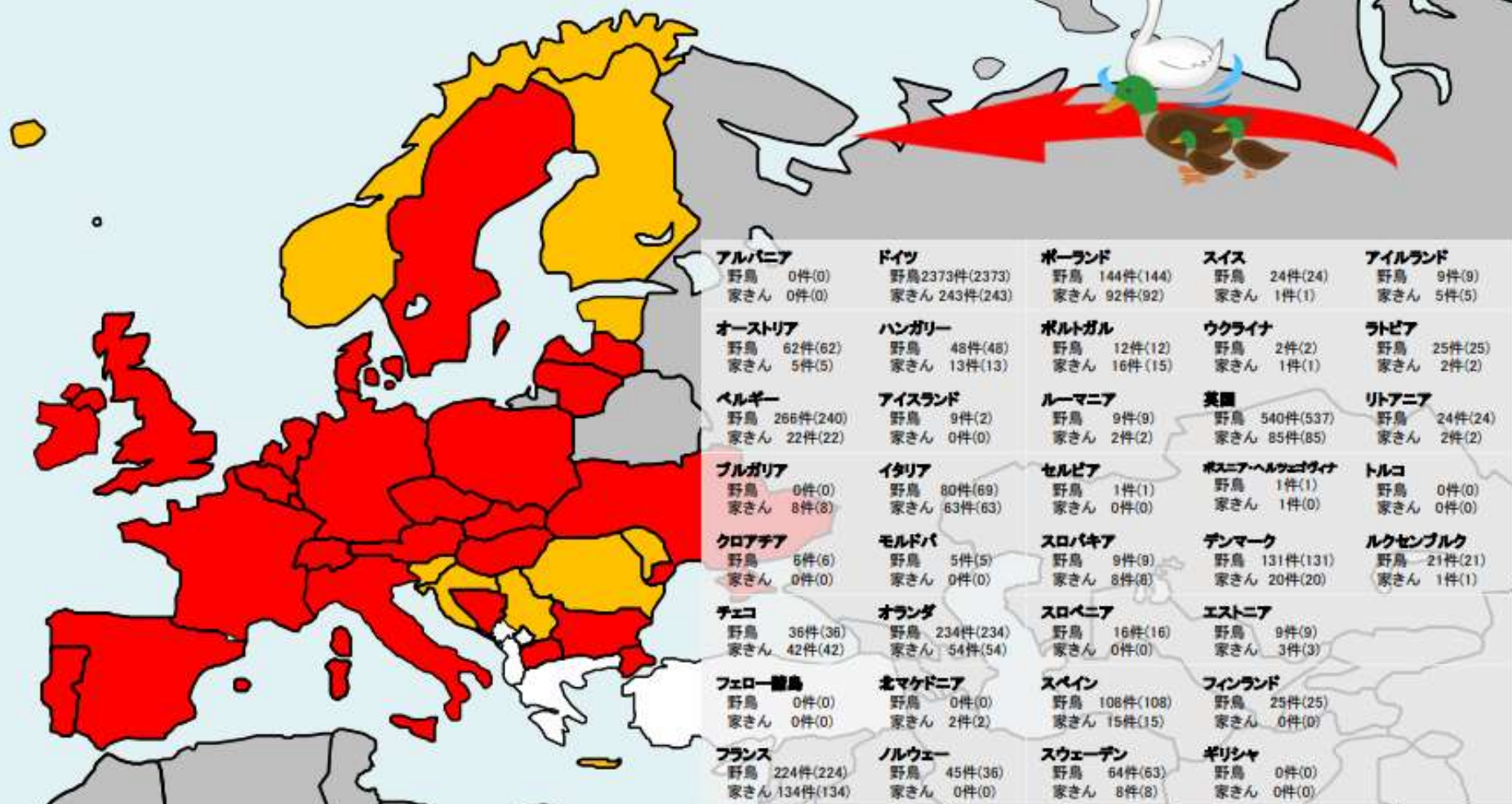
## 欧州における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2025年9月以降)

高病原性鳥インフルエンザ発生国 ■

野鳥のみ ■

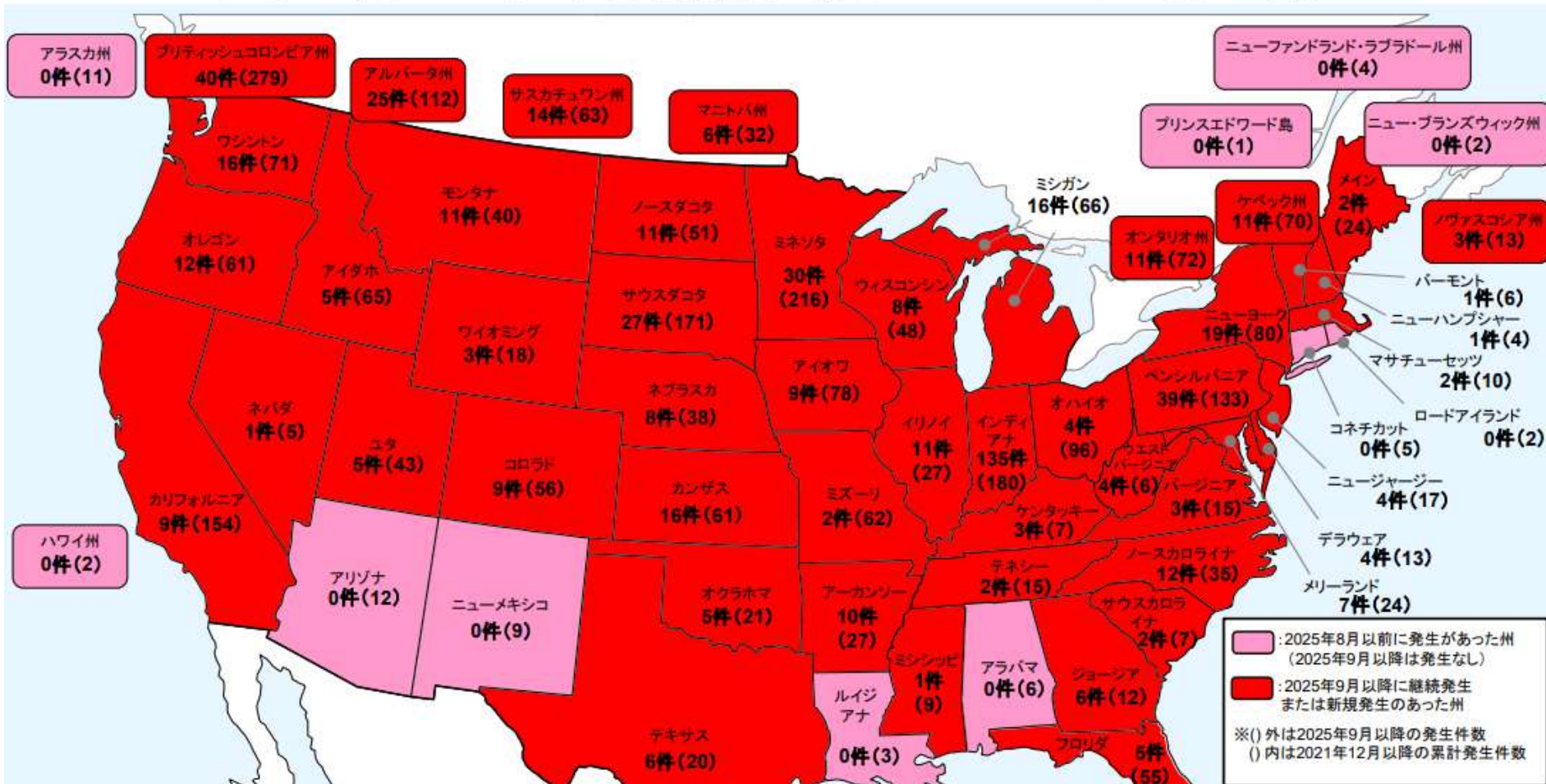
※ ( )内はH5N1亜型確定件数  
家きん: 全442件、野鳥: 全2454件

出典: EU報告書(掲載EFSA Journal)  
(2026年2月27日まで)



# 北米における高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生

## 北米の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況



米国	カナダ
初発日: 2022年2月7日	初発日: 2021年12月20日
発生件数: 2,197件50州	発生件数: 648件10州
殺処分対象羽数: 206,273,510羽	殺処分対象羽数: 17,288,900羽
(2025年9月以降 486件 31,383,713羽)	(2025年9月以降 110件 2,722,700羽)

**2026年4月21日 現在**

裏庭農場での発生も含む。  
 カナダの発生件数・殺処分対象羽数にはHPAI疑い事例の数も含む。  
 なお、カナダの殺処分羽数は2026年3月20日時点。  
 出典: 米国家農務省動物植物検疫課ウェブサイト、カナダ食品検査庁ウェブサイト、WOAH-WAHIS

# アフリカ豚熱 (ASF)

出典: WOAH等

## ASFの発生報告状況

2025年11月28日時点

= 2005年以降WOAH等に発生・感染確認通報のあった国/地域



### アフリカ(31か国・地域)

アンゴラ	ガーナ	南アフリカ共和国
ベナン	ギニアビサウ	タンザニア
ブルキナファソ	ケニア	トーゴ
ブルンジ	マダガスカル	ウガンダ
カメルーン	マラウイ	ザンビア
カーボベルデ	モーリシャス	ジンバブエ
中央アフリカ	モザンビーク	マリ
チャド	ナミビア	シエラレオネ
コンゴ民主共和国	ナイジェリア	ガボン
コンゴ共和国	ルワンダ	
コートジボワール	セネガル	

### アジア(21か国・地域)

中国	インドネシア
モンゴル	インド
ベトナム	マレーシア
カンボジア	ブータン
香港	タイ
北朝鮮	ネパール
ラオス	シンガポール
ミャンマー	バングラデシュ
フィリピン	スリランカ
韓国	台湾
東ティモール	

### ヨーロッパ(29か国・地域)

アルメニア	エストニア
アゼルバイジャン	モルドバ
ジョージア	チェコ
イタリア	ルーマニア
ロシア	ハンガリー
ウクライナ	ブルガリア
ベラルーシ	ベルギー(※2)
リトアニア	スロバキア
ポーランド	セルビア
ラトビア	ギリシャ

### 南北アメリカ(2か国・地域)

ドミニカ共和国
ハイチ

### オセアニア(1か国・地域)

バブアニューギニア
-----------

(※2)ベルギー-2020年10月1日に清浄化を宣言

# 欧州におけるアフリカ豚熱 (ASF) の発生①

2025年11月28日現在

## 欧州・ロシア等におけるアフリカ豚熱の発生状況(2007年以降)

- : アフリカ豚熱発生国
- : アフリカ豚熱発生国 (現状: 野生いのしのみ)

### ラトビア

初発生: 2014年6月25日  
豚飼養頭数: 約32万7020頭

### リトアニア

初発生: 2014年1月24日  
豚飼養頭数: 約57万3800頭

### ドイツ

初発生: 2020年9月9日  
豚飼養頭数: 約2376万2300頭

### ベルギー

初発生: 2018年9月9日  
豚飼養頭数: 約604万2150頭  
※2020年10月1日に清浄化を宣言

### チェコ

初発生: 2017年6月21日  
豚飼養頭数: 約149万3440頭

### ハンガリー

初発生: 2018年4月20日  
豚飼養頭数: 約272万5900頭

### クロアチア

初発生: 2023年6月23日  
豚飼養頭数: 約97万2000頭

### スペイン

初発生: 2025年11月26日  
豚飼養頭数: 約3455万4090頭

### スウェーデン

初発生: 2023年8月27日  
豚飼養頭数: 約137万2500頭

### イタリア

初発生: 2007年以前(サルジニア島のみ)  
2022年1月5日(サルジニア島以外)  
豚飼養頭数: 約840万7970頭

### スロバキア

初発生: 2019年7月24日  
豚飼養頭数: 約45万3080頭

### セルビア

初発生: 2019年7月30日  
豚飼養頭数: 約286万8121頭

### 北マケドニア

初発生: 2021年12月29日  
豚飼養頭数: 約18万6146頭

### コンゴ

初発生: 2023年7月  
(発生報告はADIS、発生月は報道情報に基づく)

### モンテネグロ

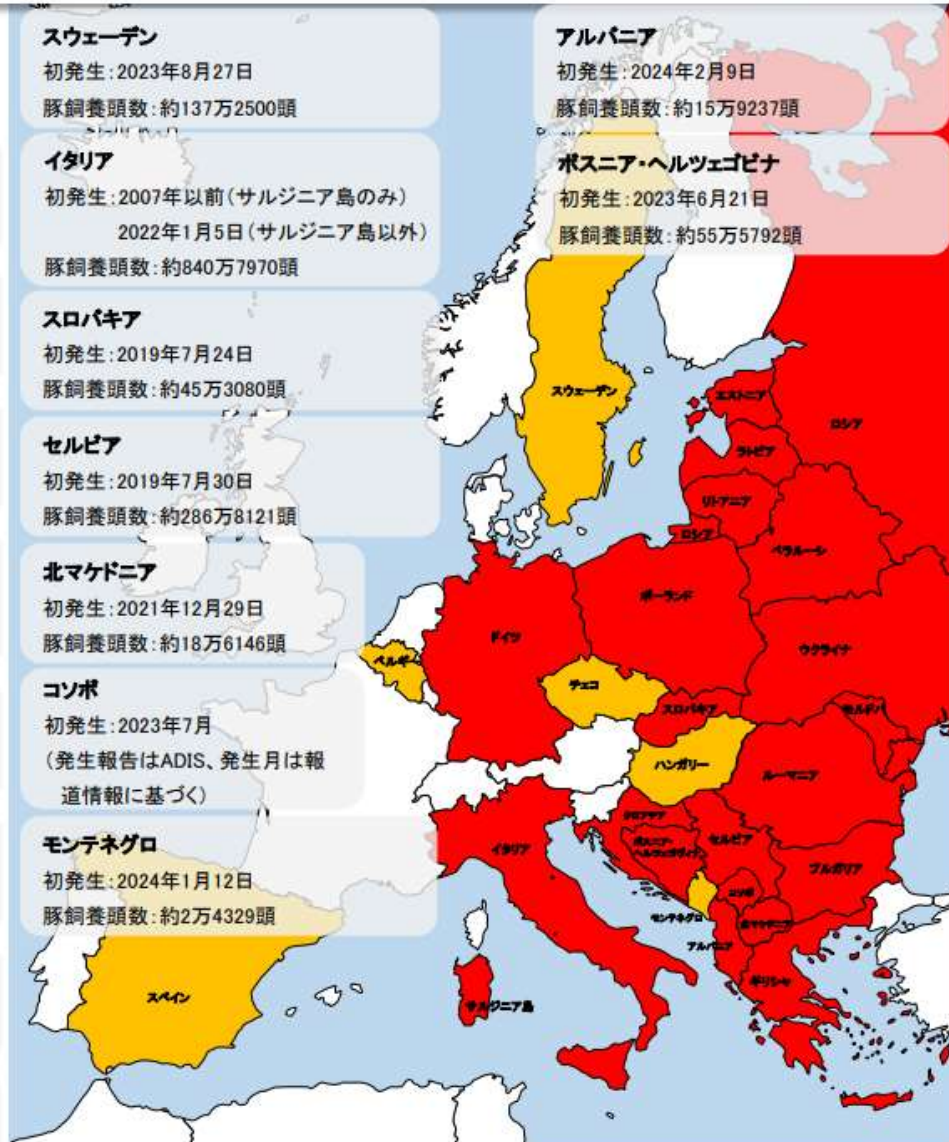
初発生: 2024年1月12日  
豚飼養頭数: 約2万4329頭

### アルバニア

初発生: 2024年2月9日  
豚飼養頭数: 約15万9237頭

### ボスニア・ヘルツェゴビナ

初発生: 2023年6月21日  
豚飼養頭数: 約55万5792頭



### ポーランド

初発生: 2014年2月13日  
豚飼養頭数: 約1024万2400頭

### エストニア

初発生: 2014年9月2日  
豚飼養頭数: 約30万8000頭

### ロシア

初発生: 2007年  
豚飼養頭数: 約2585万147頭

### ベラルーシ

初発生: 2013年6月19日  
豚飼養頭数: 約255万1000頭

### ウクライナ

初発生: 2012年7月30日  
豚飼養頭数: 約587万6200頭

### モルドバ

初発生: 2016年9月17日  
豚飼養頭数: 約33万9500頭

### ルーマニア

初発生: 2017年7月27日  
豚飼養頭数: 約361万9600頭

### ブルガリア

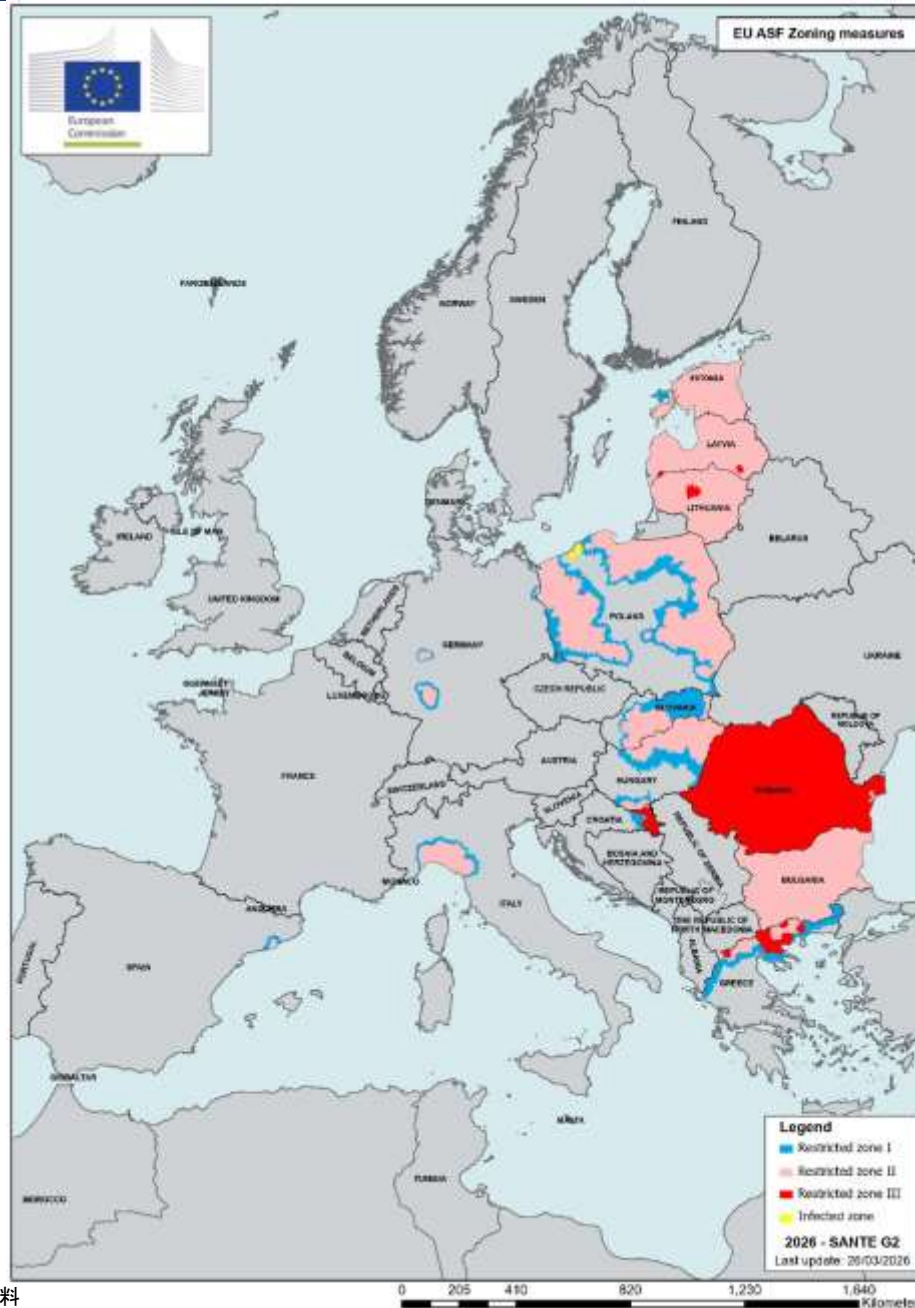
初発生: 2018年8月31日  
豚飼養頭数: 約69万4660頭

### ギリシャ

初発生: 2020年2月5日  
豚飼養頭数: 約73万3000頭

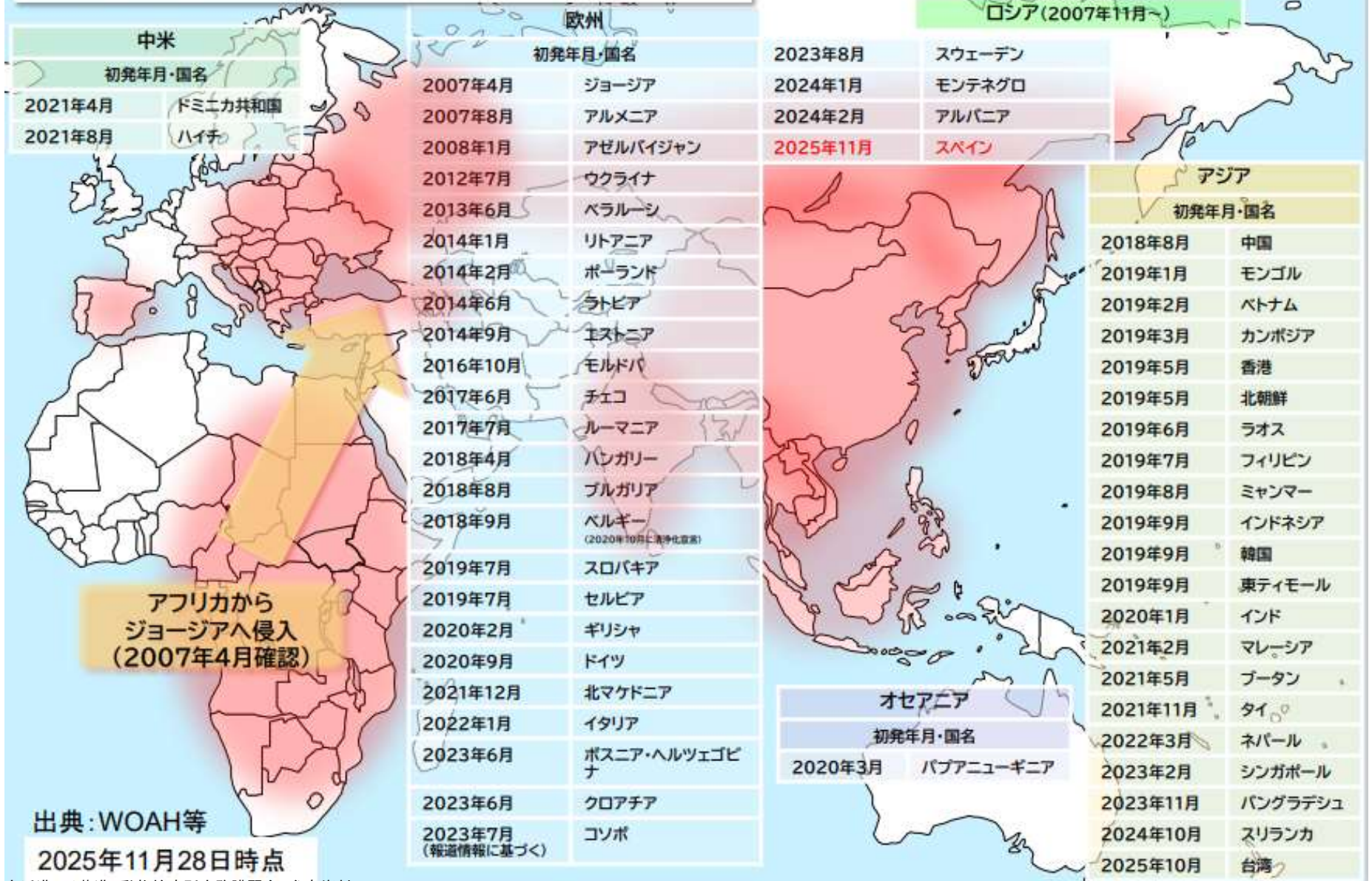
※出典: WOAH-WAHIS(Animal disease eventsおよびQuantitative data), ADIS, 各国当局HP ※日付は発生日又は検体回収日に基づく ※赤字は更新点 ※飼養頭数: FAO統計(2021)参照 ※一部の国についてはWOAHへの定期報告を元にしていないため、最新のデータが反映されていない

# 欧州におけるアフリカ豚熱 (ASF) の発生②



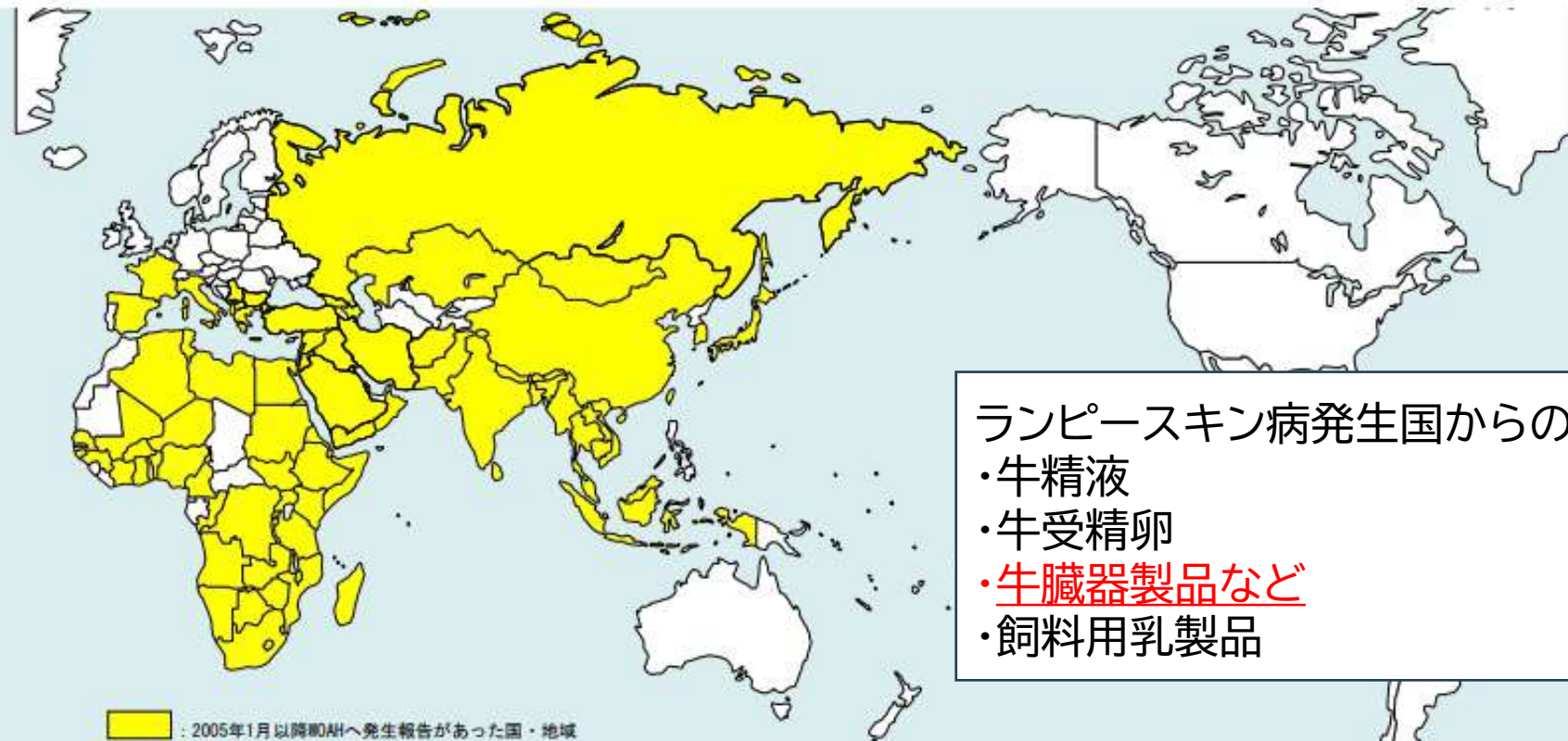
# ユーラシア大陸におけるアフリカ豚熱 (ASF) の広がり

## アフリカ豚熱の発生拡大状況 (2007年～)



# ランピースキン病

## ランピースキン病の発生報告 (2025年10月6日時点)



ランピースキン病発生国からの制限

- ・牛精液
- ・牛受精卵
- ・**牛臓器製品など**
- ・飼料用乳製品

■ : 2005年1月以降WHOへ発生報告があった国・地域

出典: WHO-WAHIS (Quantitative data)

※報告に基づくため、検査や報告体制が十分でない国では、実際には発生していても、地図で塗られていない場合があります。

アフリカ(42か国・地域)				アジア(20か国・地域)		ヨーロッパ(11か国・地域)		中東(14か国・地域)	
アルジェリア	ギニアビサウ	タンザニア	マラウイ	インド	ベトナム	アゼルバイジャン	スペイン	アフガニスタン	サウジアラビア
アンゴラ	ケニア	チュニジア	マリ	インドネシア	マレーシア	アルバニア	セルビア	イエメン	シリア
ウガンダ	コートジボワール	トーゴ	モザンビーク	カンボジア	ミャンマー	アルメニア	フランス	イスラエル	トルコ
エジプト	コンゴ共和国	ナイジェリア	モーリシャス	シンガポール	モンゴル	イタリア	ブルガリア	イラク	バーレーン
エスワティニ王国	コンゴ民主共和国	ナミビア	リビア	スリランカ	ラオス	カザフスタン	モンテネグロ	イラン	パレスチナ
エチオピア	ザンビア	ニジェール	ルワンダ	タイ	韓国	ギリシャ	ロシア	オマーン	ヨルダン
エリトリア	ジブチ	ブルキナファソ	レソト	ネパール	香港	ジョージア	北マケドニア	クウェート	レバノン
ガーナ	ジンバブエ	ブルンジ	南アフリカ共和国	パキスタン	台湾				
カメルーン	スーダン	ベナン	南スーダン	バングラデシュ	中国				
ガンビア	セネガル	ボツワナ		ブータン	日本				
ギニア	ソマリア	マダガスカル							

# 欧州におけるランピースキン病の発生

## 欧州におけるランピースキン病発生報告状況（2005年以降）

2026年4月20日時点



### フランス

- ・初発生日：2025年6月23日
- ・最新発生日：2025年12月31日
- ・発生件数：117件（サヴォワ県32件）  
（オート＝サヴォワ県44件）  
（アン県3件）  
（ローヌ県1件）  
（ジュラ県7件）  
（ピレネー＝オリアantal県22件）  
（ドゥー県1件）  
（アリエージュ県3件）  
（オート＝ピレネー県1件）  
（オート＝ガロンヌ県2件）  
（オード県1件）

### スペイン

- ・初発生日：2025年10月1日
- ・最新発生日：2026年3月3日
- ・発生件数：20件（ジローナ県18件）  
（ウエスカ県2件）

### イタリア

- ・初発生日：2025年6月20日
- ・最新発生日：2026年4月15日
- ・発生件数：83件（サルデーニャ島82件）  
（ロンバルディア州1件）

- : 2025年以降発生が確認された国
- : 2024年以前も発生が報告されている国
- : 発生地点

農林水産省動物衛生課

出典：WOAH WAHIS、各国当局プレス

注：初発生日はWOAH公表の発生日に基づく。  
各国当局の確定日やWOAHへの報告日とは異なる。